

きらめき



通所リハビリ
ご利用者様の作品

「きらめき」…名のごとく元気に輝き続けたい…

満天の星空のきらめきは、本当にきれいで力を感じさせてくれる。星の色からその温度・元気を感ずることのほかに、星座～流れ星などから霊・オーラの光を感じる人も多いであろう。そしてどの星も、地球もそうであるが、時々刻々変化を続けているに違いない。

日本の経済は長引く不況からの脱出の兆しが見られだしたようであるが、人口問題の方は、例を見ない少子高齢化に加え、予想されていた団塊の世代も高齢化していくという超高齢化問題をどう乗り切ることが話題となってきている。解決法の一つとして、地域中心で、全ての予防・医療・介護の専門的サービスが連携して、在宅も含めた生活支援を行うという「地域包括ケアシステム」が挙げられた。このことは関連職種の大総動員は勿論であるが、不完全サービスにしないためには、担当者の並々なエネルギー・努力が必要となるということであろう。

人間自身(37℃の赤外線)も周りの物質も、その時の温度に一致した光を発しながら存在している。中には素晴らしいオーラを発する人・組織もあり、人も物もみんながお互いにその二種のエネルギーを与え合っているのだと思う。

職員・組織の力・元気さ・活動と関係のある温度的なエネルギーは大切なものであり、冷えた状態にならないように十分確保しておかねばならないものである。オーラのエネルギーは職員・組織の結束・満足度や地域社会からの期待度と関係がある大切なものであり、これも大きくなくてもしっかりしたものを携えておくべきであろう。

医療より大きくなった介護の世界は、今後ますます忙しくなっていくことであろう。人でも組織でも、この物と心の二つのエネルギーのどちらかを欠いても存在の危機に陥る可能性があり、どちらも大切にしていかなければならない。そして「きらめき続ける」ことこそが、本当に重要なこと・使命であると考えます。

施設長 大家 他喜雄

歳時記 一年の笑顔

お花見



やっぱり さくらはきれいだね



ハーモニカ演奏会



いい音色だねえ...



春



みんなで 賑やか盆踊り♪

盆踊り祭



お腹にびびく 太鼓の音!!



新緑ドライブ

夏



色とりどりの紫陽花が 咲いていました

みんな揃って記念写真 ハイ、チーズ☆



敬老のつどい



敬老の

みことな芸に
拍手喝采!



秋



おいしいケーキと
きれいな景色で
宥らぎのひととき...



秋晴れの日
紅葉を眺めながら
ドライブを楽しみました



紅葉ドライブ



冬

職員による演奏会



呼吸をあわせて
美しいハーモニー♪



森本小学校クリスマス交流会



メリークリスマス☆

子どもたちが遊びに来てくれました



とても素敵な
プレゼント!
ありがとうね



楽しいね みんな良い笑顔!



東・南療養棟から



白井主任看護職員

こんにちは！老健ホームいしかわ東・南棟です。

より良いチームケアの確立を目指す為、入所者様並びに職員同士のコミュニケーションを大切にすることを目標にしています。

ところで、みなさんは「介護」を受けた経験がおありでしょうか？「介護」することは大変です。身体的・精神的ストレスは大きいです。それに比べて「介護」される側はどうでしょう？ 気楽でしょうか？

私は、昨年腰を患い、入院し「看護と介護」を受けました。

その経験から、「介護」される側も大変なんだと痛感しました。

「自分だけが何故？」という怒り、出来なくなった事への失望、「ニコニコしてやってくれるけど本当は嫌なのでは？」という疑心暗鬼、介助してもらう事への気遣いや心の負担、さらに周りの人への羨望や嫉妬、「人に迷惑をかける生活がいつまで続くのだろう」という焦りや不安など、心の中は複雑で決して楽ではありません。

〈する〉も〈される〉も人と人です。「してもらっただけ…」の一方的な人間関係でなく、複雑な心理を共有できる関係を作りたいと思います。このような関係を構築するには、時間と気付きが必要です。私達職員が、きちんと気付く事が出来ますようご協力下さい。

北療養棟から



櫻見主任看護職員

朝起きて、ご飯を食べ、夜になったら寝る。施設だからといって何も特別なことはない。ごくごく当たり前の日常を過ごしている。一口に日常といっても十人十色。大切にしている事も人それぞれ。

当たり前の事を当たり前にするのは結構難しい。施設はたくさんの方の他人と生活するため多くの制約がある。家とは違って不自由さや不便さがある。我慢しなくちゃいけないこともある。あきらめなくちゃいけないこともある。でも家じゃないけど「ここでもいいか」と思ってもらえる場所に、家族じゃないけど「あの人が居るから安心」と思ってもらえる職員になれるように共に時間を過ごす。一緒におしゃべりしたり、テレビを見たり、時には今晚のおかずを相談したり、人生の機微を教えてもらったりとどこにでもある日常を過ごす。皆さんのいい顔を見たくて恥ずかしいけど大声で歌ったり、面白おかしく踊ったりおどけたりなんてこともある。でもそれだけでは十分ではない。そこで家族の方の力を借りる。その方の日常や大切にしている事を教えてもらう。家族の方に見せる表情は職員には見せないとびっきりの顔。家族の方にたくさん足を運んで頂き、一分一秒でも長く居てもらえるように心地いい場所にしたい。私達はここにしかない喜びや楽しさを原動力としてその方が大切にしている当たり前の日常をこれからも一緒に大切に過ごしていきたいと思う。

教育委員会の紹介

看護師長 出越一美

老健ホームいしかわでは、多職種を構成メンバーとした11の委員会があります。私が担当している教育委員会は、職員個々がチームケアの一員として専門力を発揮する為の研修会や施設内研究会等を企画しています。

平成25年度は「育て・育ちあう組織作り」を目標にしました。研修会企画時、①知識を入れるだけで無く自分で行動できるように援助する②講師は自分たちの中から選ぶ③明日の仕事に活かせる研修内容にする。この3点を意識しました。大切なことは自分で考え行動できる人づくりです。「学び」によって人は変わり成長でき、周囲と共に成長する事が達成感につながります。変わるのは職場や同僚だけでなく自分自身だと気付くことが大切です。講師などの役割を持つことでその器になろうと努力する。この繰り返しが自信につながり、人を育てる風土づくりになって行きます。「組織に貢献したい」「必要な人材になりたい」「大変だけど楽しい」と実感できることが重要です。

研修会は毎月業務終了後に行っています。研修後のアンケートでは、「理解できた。今後の業務に役立つ。」などの意見がある一方参加者の偏りがあり、課題もあります。

教育委員として、また師長として、日々変わる状況に的確に対応でき、組織を作れる存在でありたいと思う毎日です。



〈老健ホームいしかわ〉

施設理念 利用者本意の 地域に優しい
社会から支持される 福祉活動を
是 献身的な精神で 提供する

基本方針

- 利用者の意志及び人格の尊重
- 利用者の有する能力に応じ、自立支援を目指すサービスの提供
- 地域及び家庭との結びつきを重視した運営
- 職員・組織・施設として研修により人材の育成を図る

ボランティア等をして頂いたみなさま、本当にありがとうございました。

今後も「話の相手」「本読み」「散歩の同行」等のお手伝いをして下さるボランティアを募集しています。

編集後記

今回掲載する写真を撮影することになりました。作業に追われながらも笑顔のご利用者の写真は癒しになり、手を止めてしばし見入ってしまいました。

昨年、ご家族様から「この間の広報誌に載っていた写真、いい顔で写ったわ」と嬉しいお言葉をいただく機会がありました。今回の表情はいかがだったでしょうか？ 次回はさらに多くの最高の笑顔が掲載された広報誌をお渡し出来るよう、日々のおつきあいを大切にしていきたいと思っております。

「D・H」